

# 五條の歴史を 探る

第150回

五條市内の中世城館跡  
(その1)

中世(日本ではおよそ平安時代後期から戦国時代まで)の古文書や『太平記』などを読むと、宇智郡(五條市北部)の各所に武士の集団がいたことがうかがえます。その棟梁たちが平時の居所や有事の際の前線基地としたのが、館と城です。

城といっても、戦国時代後半に特有の高い石垣や深い水堀、幾重もの郭や天主(天守)はなく、基本的には尾根筋や台地を堀切で区切ったり、土を盛って土塁を巡らしたりして門や建物を構えた施設でした。

五條市内では約30か所の中世城館跡が確認されていますが、ほとんどは未発掘で、築造・廃絶の時期や城主などはわかりません。しかし近年、城郭研究者による縄張り調査で構えが推定されたり、わずかですが発掘調査が行われたりした城館跡もあります。市内の代表的な中世城館跡を2回に分けて紹介します。

【岡西山城と岡平城】

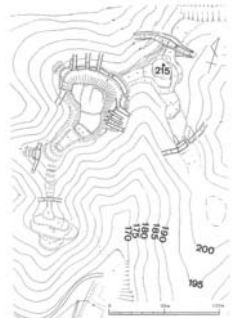
市街地の北方、田園の住宅街の南側にある丘陵の頂部(標高約219m)に岡西山城、京奈和自動車道をはさんだ南東の麓に岡平城があります。

岡西山城は、尾根筋に郭が連なり、横堀と複数の堅堀、堀切・土橋なども設けられています。もとは南朝に属した在地の大岡氏の居城が、戦国時代後半に堅堀群を加えて改修された可能性があるようです。

岡平城は、自然のY字形の谷地形を東と西の堀として利用し、両者を空堀でつないでできた台地を方形の主郭にした居館と推定されています。

昭和45年(1970)、山城跡を含めた丘陵地で宅地開発計画が持ち上がりましたが、城郭研究者の訴えと住民による保存運動が起こり、測量調査などを経て昭和57年(1982)に山城跡のほぼ全域が現状保存と決まりました。

文化財課 前坂尚志  
文化財課 電話 24・2011



岡西山城の縄張り図  
(藤岡英礼氏作成。中井均監修・城郭談話会編『図解 近畿の城郭I』戎光祥出版、2014年より)

## 中世の軍記物語『太平記』②

見取り図案内其の百四拾八  
文学・文芸作品に見る五條④

元弘2年(1332年)3月、奈良の般若寺で幕府の追求を逃れた後醍醐天皇の皇子・大塔宮尊雲法親王は、大般若経の唐櫃に隠れて逃れて十津川に來ました。その後宮は途中で足に怪我をし、数日辻堂(仏堂)に隠れていたのですが、供の源尊が一軒の立派な家に助けを求めました。光輪坊源尊、とある在家の、これぞさもある人の家なるらんと覚しき所に行き、童部の出でたるに家主の名を問へば「これは竹原八郎入道殿には甥、戸野兵衛殿と申す人のもとにて候ふ」とぞ申しける。さては、これこそかねて弓矢取って好き者と聞き及びし者なれ。いかにしてもこれをたのまばと思ひければ、門の中へ入りて、事の体を見聞く処に、病者ありと覚えて、「あはれ貴からん山伏の出で来よかし。祈らせまらせん」といふ声したりける。『太平記』



【武者絵】展  
6月20日(日)まで  
(月曜休館、祝日の場合は翌日)  
所 藤岡家住宅(近内町526)  
電話 22・4013



『太平記』に登場する五條付近地図(岩波文庫『太平記』)

家であると分かりました。そこに、主人の兵衛が出てきて、妻が物の怪に取り憑かれて病んでいるので、どうか助けてほしいと頼みます。源尊は大塔宮を呼びに戻り、宮たちが病氣平癒を祈ると、妻は元氣になりました。その礼にと、宮たちは兵衛の家滞滞することになりました。(つづく) 館長 川村優理

## 新刊本棚 おとなの本

日本外食全史



阿古 真理/著  
亜紀書房

江戸の昔から、日本人の胃袋と心を満たし、人と人のつながりを生み出してきた外食。高級フレンチ、寿司、天ぷらからファミレス、カレー、ラーメン、アジア飯まで、あらゆるジャンルの誕生や流行の変遷を紹介する。

佐野洋子とっておき作品集



佐野 洋子/著  
筑摩書房

## こどもの本

夢をかなえる未来ノート



本田 有明/著  
PHP研究所

プロ野球選手になる夢をかなえるため、陽翔は「未来ノート」を作ることを決めた。発明家になりたい弟の大翔、デザイナーを夢見る沙良とともに、夢を実現させるための一歩を踏み出した...

はんぶんこ



よねづ ゆうすけ/著  
講談社

## 市内の各小学校に著書「敗戦の覚え書」を寄贈していただきました

おがわさとこ  
十津川村在住の小川哲子さんから、戦争の体験談をまとめた冊子「敗戦の覚え書」を寄贈していただきました。市内各小学校に40冊ずつ配付し、平和学習の参考図書として活用させていただきます。

学校教育課(内線817)



写真左から堀内教育長、芝田文男さん(小川哲子さん三男)



図書館だより

市立図書館(水曜休館)

22-4133



図書館ブログ

感染症対策

当初予算

災害対策

暮らし

まなび

市民ごよみ

こそだて

交流

病院・消防

おしらせ

ニュース